

第4回総務常任委員会会議記録

開閉会日	平成26年8月6日（水曜）午前9時30分開会		
	休憩 10:01-10:02		
	午前10時14分閉会		
会議場所	役場3階 第1委員会室		
出席委員氏名	委員長 藤森善一郎	委員 中野 武彦	議長 広瀬 重雄
	副委員長 青木 定之		
	委員 梅津 伸子		
	委員 西尾 一則		
欠席委員氏名			
説明等に出席した者の氏名	企画財政課 佐野寿行		
	課長補佐 石田 哲		
	財政係長 小林徳昭		
事務局職員	事務局長 西科 純	次長 剣持和裕	

『会議に付した事件と会議結果など』

1 開会

2 議件

(1) 調査事項

ア 総合体育館の非常用バイオマス発電設備に関する補助金の経過について

・・・資料1

3 その他

(1) 次回委員会の開催日程について

(2) その他

4 閉会

2 議件 (1) 調査事項

ア 総合体育館の非常用バイオマス発電設備に関する補助金の経過について

・・・資料1

・佐野企画財政課長から説明の後、質疑を行う。

・中野委員：有利な財源を確保したという点では一定の評価をするが、当初からこのように進めるべきではなかったか。

・佐野課長：起債は大枠が決まっていても、細目についてはH26に入ってから加えられたものであり、当初は見込めなかった。町としては、起債よりも補助を基本としている。

・中野委員：今後の大まかなスケジュールはどうなっているか。

- ・佐野課長：入札を8月19日と考えている。9月中に指定緊急避難場所に指定する考えである。完了は平成27年3月20日である。
- ・中野委員：要配慮者の対応についてが条件となるのではないか。
- ・佐野課長：指定については、町長の告示行為で可能。要配慮者の件は、施設があくまで緊急的な避難施設であってバリアフリーなど長期間の生活を条件とされていない。
- ・中野委員：交付税の算入期間は。
- ・小林係長：償還は15年であり、毎年の元利償還の7割相当が充当される。
- ・中野委員：工期はできるだけ早くすべきと考える。
- ・佐野課長：降雪の前に上屋を終え、その後プラント設置に入るが、プラントは発電施設であり、テストも必要であることから早目に工事を進めたい。
- ・梅津委員：強化する機能はあるのか。
- ・佐野課長：今回の工事は災害時の避難場所の電源のリスクを分散し、電源供給を受ける機能を強化するものである。
- ・西尾委員：交付税の該当となるということではなく、計画的に進めるべきではないか。総合計画から詰め、防災計画とリンクすべき。
- ・佐野課長：財源確保もあるが、法に基づく指定もしなければならず、健康プラザ、西小学校などの整備を進める。
- ・青木委員：町は一体となった計画や体制で進め、住民に分かりやすい説明が必要。
- ・藤森委員長：財源問題もあるが、今後は防災担当の総務課への調査も必要である。

3 その他

- (1) 次回委員会の開催日程について 正副委員長に一任する。
- (2) その他
 - ・青木副委員長：政策形成サイクル対象の事務事業を選考する会議を持つべき。
 - ・藤森委員長：委員会終了後、打ち合わせたい。

以上をもって委員会を閉会する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	0名	合計	0名
平成26年8月6日						
議長	副議長	局長	次長	係	作成者氏名	事務局長 西科 純